自民党　埼玉県議会議員

美田むねあき

（みた　宗亮）

2025年（令和7年）秋号　県政報告

発行：埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所　三郷市采女1-91
TEL：048-951-5826
FAX：048-951-5926
URL http://www.mita-muneaki.com/

所属委員会　議会運営委員会、企画財政委員会、公社事業対策特別委員会、八潮市道路陥没事故調査特別委員会

県議会9月定例会報告　補正予算合計 151億2,620万5千円等を議決

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第3号】（88億4,620万5千円）及び流域下水道事業会計補正予算【第2号】（62億8,000万円）等の計上を議決し、10月15日に閉会しました。

一般会計補正予算【第3号】

内　容

合計 88億4,620万5千円

①公共事業の追加、適正工期の確保　84億4,197万7千円

【繰越明許費の設定　140億2,290万4千円】

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施

ア、（ア）道路街路事業(50カ所)約74億9,897万7千円　（イ）河川事業(8カ所)9億4,300万円

イ、適正工期の確保 140億2,290万4千円施

②病床数の適正化を進める医療機関に対する給付金の支給　3億4,063万2千円

患者減少等により経営状況の急変に直面している医療機関への支援として、病床数の適正化（病床数の削減）を進める医療機関に給付金を支給するもの。

給付対象　病院（一般病床／療養病床／精神病床）、有償診療所
83床（1床あたり 4,104千円）

③中央児童相談所一時保護所整備費の増額　6,359万6千円

【継続費の変更　15億8,608万円 → 19億4,951万5千円】

令和7年度から令和8年度にかけての継続事業の中央児童相談所一時保護所の建替え整備について、解体工事におけるアスベスト除去等のため継続費の総額を増額する。

流域下水道事業会計補正予算【第2号】

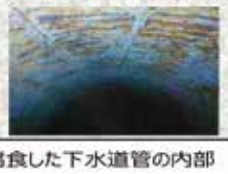
合計 62億8,000万円

全国特別重点調査の結果を踏まえた対策等　55億円

調査の結果を踏まえ、速やかな対策が必要な箇所について下水道管路の改築工事等を実施

【補正予算の内容】
○管更生又は防食工事、空洞調査

【管更生工法のイメージ】
腐食した下水道管に樹脂製の新しい内壁を形成し、元の機能を確保する



腐食した下水道管の内部

樹脂製の新しい内壁を形成

工事完成後の下水道管の内部

復旧工事の影響を受ける住民及び事業者への補償等　7億8,000万円

八潮市内で発生した下水道管の破損及び道路陥没に係る個別相談会等での相談を踏まえ、必要な補償等を実施

【補正予算の内容】
○交通規制区域内の家屋調査の実施　事業者への営業補償　等

Profile
■ 埼玉県議会議員 美田むねあき
■昭和48年5月6日　三郷市彦成に生まれる　■ちくみ幼稚園～彦郷小学校～城北学園中・高等学校～日本大学商学部
■あさひ銀行（現りそな銀行）日本橋支店勤務を経て、ミタアルマイト工業（有）　■平成21年　三郷市議会議員（連続3期）
■令和5年 埼玉県議会議員（3期目）　■三郷高等学校PTA・後援会顧問　■彦郷小学校 R5・R6年度PTA会長
■三郷市ボウリング愛好会顧問　■フェイスブック、エックス、インスタグラムでも情報発信中！→

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会資料から

埼玉県における全国特別重点調査の実施結果

1　調査対象

内径2m以上かつ平成6年度以前に設置された下水道管路（県内で約155km）
このうち、優先的に調査を実施する下水道管路（県内で約94km）　今回の公表対象

2　調査方法

下水道管路全線を、目視、船体型テレビカメラ等で確認し、これに加え、管路全線の調査結果に基づき、地上から管路までの地中において、空洞が発生していないか確認する空洞調査を実施

管路調査（船体型テレビカメラ）

空洞調査

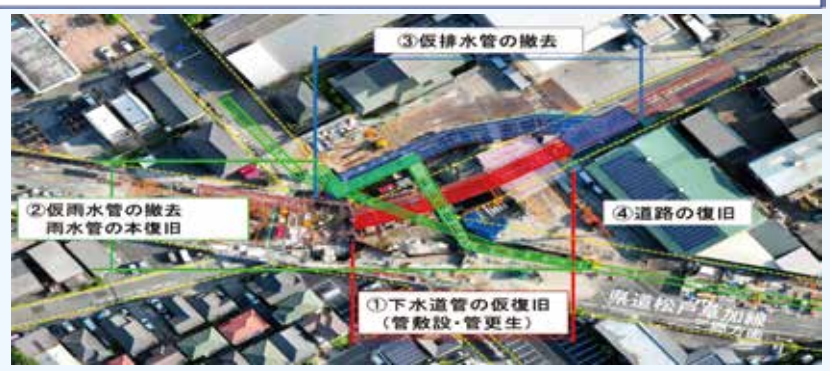
3　調査結果・公表日等

	目視調査	要対策延長		空洞が確認された箇所数	9月17日公表
		緊急度Ⅰ	緊急度Ⅱ		
優先的に調査を実施する下水道管路	約90km	3.5km	43.0km	0箇所	
それ以外の下水道管路	令和７年度中まで				

4　埼玉県の対応

今回の調査により対策が必要と判断した下水道管路については速やかに対応

県下水道局は、国土交通省の「下水道管路の全国特別重点調査」の実施要請に基づき、八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没と同種・同類の事故を未然に防ぎ、安全・安心が得られるよう、管理する下水道管についての調査を実施し結果を9月17日に公表しました。



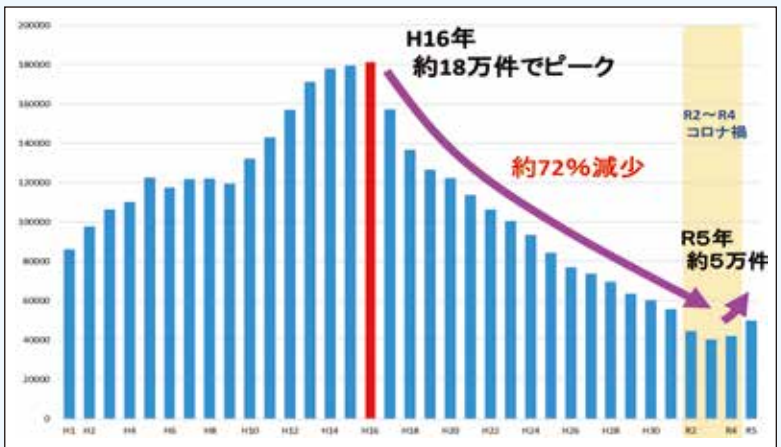
八潮市道路陥没事故復旧スケジュール

※今後の現場状況によって、工程が変更となる場合があります。

県内の犯罪情勢について

県内では刑法犯の認知件数が令和５年より増加傾向にあり、特に自転車盗や特殊詐欺など身近な犯罪が目立っています。
私達も県警に協力して治安の向上に尽力して参ります。

①刑法犯犯罪認知件数



平成16年の約18万件をピークに減少傾向でしたが、近年は再び増加傾向にあります。

②罪種別認知件数

罪種	R６.８末	前年同期比	増減率	R５	前年比	増減率
自転車盗	9,132	+460	+5.3%	13,622	+3,251	+31.3%
非侵入窃盗その他	3,623	+478	+15.2%	4,881	+1,146	+30.7%
侵入窃盗	2,546	-58	-2.2%	4,212	+1,131	+36.7%
車上ねらい	1,082	-13	-1.2%	1,770	+282	+19.0%
オートバイ盗	652	+180	+38.1%	754	-128	-14.5%
自動車盗	515	+121	+30.7%	683	+77	+12.7%
不同意わいせつ	460	+99	+27.4%	623	+278	+80.6%
自動販売機ねらい	206	-75	-26.7%	412	+130	+46.1%
不同意性交等	149	+62	+71.3%	164	+76	+86.4%
路上強盗	15	±0	±0.0%	22	+5	+29.4%
ひったくり	38	-8	-17.4%	61	-24	-28.2%
その他の刑法犯	14,945	+344	+2.3%	22,449	+1,446	+6.9%
合　計	33,363	+1,590	+5.0%	49,653	+7,670	+18.3%

※　R6.8末は暫定値